

Join

国際理解教育通信
第32号
2019年1月発行

11月に実施したシンガポール(HCI)短期交換留学（受け入れ）について報告です！
短期交換留学プログラムの参加者は、高等部2年生の稲場くん、乾さん、坪口さん、濱口くん、宮園さん、兼元さん、藤原さん、刀根くんの8名です。
また、6月に行った台湾短期交換留学の受け入れ同様、国際交流委員のみなさんも活躍してくれました。

さらに、今回はホストファミリー登録をいただいたご家庭にHCI生が訪問させていただき、ホームビジットも行いました。中等部1年生の朝日さん、緒方くん、高等部2年生の濱口くんのお宅にお世話になりました。ご協力いただいたご家庭の皆様、本当にありがとうございました。

▼竹食器作り体験



日付	実施内容
11月17日	到着→顔合わせ会
11月18日	ホームビジット
11月19日	授業参加→学校の技術室で、竹食器作り体験
11月20日	授業参加（ディベート）→京都嵐山観光&和菓子作り体験
11月21日	授業参加→オースタムセミナー（劇団四季）
11月22日	授業参加→前年度バディー交流会→J1国際系列交流会→クラス送別会→全体送別会
11月23日	帰国



▲ディベート（関大生 VS HCI生）



▲J1国際系列交流会

（夏の）台湾生との交流会では一方的に日本の文化を紹介したけれど、その反省を生かし坊主めくりや箸置き作りなど『一緒に楽しむ』出し物に今回はできたので、HCIの生徒にも喜んでもらい嬉しかったです。
【J1A 新田愛莉】

私は今回の送別会でのゲームの企画作成、当日にはその進行をしました。日本の生徒達とHCIの生徒達の仲を少しでも深められるように何度も何度も工夫を重ね、私達のオリジナルゲームを作りました。不安も多々ありましたがパーティーに来てくださったほとんどの方が楽しんでくれました。
【国際交流委員 船本碧奈】

うまく盛り上がるか不安でしたが、国際交流委員の支えがあり、パーティーは成功し、とても楽しかったし、一つのことをやり遂げたという自信に繋がりました。ありがとうございました。
【国際交流委員 二宮凜】



◀和菓子作り



送別会▶

●ホームビジット

我が家では、日本食でのおもてなしをした後、京都にお詣りに行ったり、浴衣の着付けをして公園を散策したりし、いけばな体験レッスンもさせていただきました。娘は、折り紙を教えることで交流。3人の学生さんも日本伝統文化体験をととても喜んで下さり、日本の素晴らしさを多少なりとも体験して頂けたのではないかと思います。 【J1A 朝日優 お母様より】

最初は他国の人が来る、という事に対して当日まで不安でしたが、いざ会って食事等を見ると、2人共陽気で面白い人たちだったのでとても楽しい日となりました。夕食の手巻き寿司をみんなで食べた事や、HCIの事を色々教えてくれた事も良い思い出でした。 【J1A 緒方光輝】

HCIの学生はそれぞれの子達が勉強以外に音楽やスポーツ、自分の興味ある研究などにたけており、家族の事、大学進学の話、将来の夢など込み入った内容の話が出来ました。このような体験は、ホームビジットでなければ、気が付かなかった事でした。ハーバードなどのアメリカの優秀な大学生の殆どがそうであるように、僕も文武両道を掲げ、国際的な人間になりたいと再度強く確信しました。 【S2A 濱口伶央】

●プログラム参加者の感想

初日や2日目は英語が聞き取りづらく、何回か聞き直したこともあったが、シンガポール生は嫌な顔をせず、笑顔で返してくれるなどの優しさや寛容さがとても印象的だった。毎日の学校生活もクラスメイトの協力もあり、楽しく過ごせたと思う。HCI生と交流していく中で、どんなときも日本のおもてなしの心を忘れずに接するのが大切だと学んだ。自分が心を込めておもてなしをした分、感謝の気持ちがたくさん返ってくることを体感し、とても嬉しかった。

同じ教室に日本人しかおらず異文化に触れる機会がない環境の中で生活しているため、自分たちと違う文化・ルーツを持つ人たちと交流できたのはとても貴重な経験になったし、新しい発見もたくさんできました。英語をコミュニケーションの手段として楽しく学べたのも良かったです。

1週間という短い期間の中でたくさんのお話を吸収することが出来ました。どれだけ英語が苦手でも自分の伝えたい気持ちさえあれば伝わるということが最も強く感じたことです。今後は自らの英語活用能力の向上とコミュニケーション力の向上を目指して訪問の時まで英語学習に取り組もうと思います。

私は友達に誘われてこの留学に参加しました。前回の台湾短期留学で悔しい思いをしたぶん、今回頑張ろうと思い留学を決意しました。留学を終えて、思ったよりもたくさんのお話を学ぶことができとても嬉しかったです。3月にも有意義な留学になるよう英語の勉強も頑張りたいと思います。

みんなが仲良くしてくれて良い思い出になった。

プログラム参加者からメッセージ

交換留学や留学が怖いと思うのは当然です。自分もそのうちの1人でした。でも、いざ踏み込んでみると 英語を生で触れ、もっともっと話したいと思うことができます。自ら話し、自ら伝えることが大切なことに気づくことができました。

英語で話すことに少し抵抗がある人もたくさんいるかと思いますが、伝えようとする気持ちがあれば相手に気持ちは伝わります。ぜひ、積極的に挑戦してみてください。

正直、過去形がどうで、疑問形がどうで、と悩むよりはどんどん話して行って、相手の表現や使っている単語を真似していけば相手にも伝わりやすくなるし、自分の英語の理解も深まると思います。

自分が予想していた以上の学びがあり、留学前と後では大きな自分自身の内面の成長に驚くと思います。また、HCI生はとても積極的に彼らの学びの姿勢に刺激を受けることも多かったです。少しでも興味があったら、ぜひ挑戦してみてください！